



静岡市上空に現れた虹色の帯(下)と、太陽を囲う虹色の輪＝22日午前10時20分ごろ、同市駿河区登呂

環水平アークと日暈

静岡上空 虹色共演

22日午前10時20分ごろ、静岡市の南から南東にかけての空に虹色に輝く帯と、太陽を囲う虹色の輪が現れた。静岡地方気象台によると、ともに上空の巻層雲の氷の粒が太陽光に屈折して輝く現象。虹の帯は「環水平アーク」、虹の輪は「日暈(ひがき)」と呼ばれ、同時に起こるのは珍しいという。薄曇りの空で約40分間にわたり「共演」した。気象台は「気圧の谷間の影響で、上空の湿度が増したため」と説明している。

2015年5月22日 夕刊

①「環水平アーク」とは、どんなものでしょうか。

[]

②「日暈」とは、どんなものでしょうか。

[]

③「環水平アーク」と「日暈」が見えたのは、どうしてでしょうか。

[]

年 組 名前

(小学校高学年 理科・総合、中学校 理科)